

九大箱崎キャンパスに程近い、工学部通用門からわずか歩いて二分のところにあるに九大の老舗「志乃みや食堂」。この食堂をきりもりするのは四宮豊司さん(モト)と奥さんの和子さん(メセ)。この地で九大生向けの食堂店を始めて今年で三十三年

目。この間、九大生の胃袋を絶えず満たし、いつしか九大にはなくてはならない食堂になった。土地柄からいって、創業当時よりお客はほとんどが学生を中心とした九大関係者。そんな九大生の人気メニューといえ

ば、当店自慢の「お任せ定食(六〇〇円)。メニューを見て、注文をする人もいるが、店のお勧めメニューを好む人が多いカツ丼や焼き魚などのメイ



志乃みや

お店 アラカルト

ンのおかずに加え、味噌汁やサラダなど付け合わせも二〜三品と質も量もボリュームがあり、学生には何ともありがたいメニュー。
「現在は週五日、夜の

九大生と共に こだわり続けて33年



あたたかい親心で九大生を見守り続ける四宮夫妻

みの営業なのですが、当時は週六日、昼夜の営業してしましてね。メニューが重ならないように、そして栄養も片寄らないようにうまく組み合わせるのに苦労しましたよ」と振り返る四宮さんからは子供を思いやる親心が端々に垣間見られた。

また、今は移転してしまったが、語学センターが近かったため、留学生の客が多く、「留学生が集まる店」ということで新聞で紹介されたこともある。焼き魚とか白身魚のフライなどが留学生に特に人気。留学生のために英語でメニューを表記するなど留学生にも気を配った。そんな店長夫婦の暖かい人柄が留学生のハートを引き付けているのだろう。昼休みになると、留学生と日本の九大関係者とが席を争い、店内のテーブルはびっしりと埋まっていた。教授の先生方も学生といっしょに並んで食べている光景もよく見られたそう。

また、卒業後もこのお店を訪ねてくる卒業生も少なくない。心のこもった料理に加え、店長夫妻と九大のことを語らうことができるのも、一興だ。このお店に足を運んで、九大の味と伝統を堪能してみたいかがだろうか。
営業時間/午後5時〜10時(月〜金)